



H25. 11. 1. No1317
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 県農林水産業功労者表彰 漁業関係者の受賞が決定

県、農林水産業の関係団体で組織する静岡県農林水産業振興会（会長：川勝県知事）では、9月17日に開催した県農林水産業功労者表彰選考委員会において、表彰受賞者36名を決定しました。水産部門5名の表彰受賞者のうち、漁業関係では本会並びに県信漁連が推薦した佐藤紀男氏（伊豆漁協専務理事）1名が、多年、水産業に従事し、地域の特産品であるキンメダイの資源管理やブランド化に尽力するなど、本県水産業の振興に貢献した功績が認められ、受賞が決定しました。表彰式は11月5日県庁において執り行われます。

ここに、受賞された佐藤様に心よりお慶び申し上げ、今後一層のご活躍を期待いたします。

2. 平成24年漁業経営調査結果まとまる 農林水産省

農林水産省では、平成24年の漁業経営調査の結果を発表しました。主として漁船漁業を営む個人経営体（福島県を除く1経営体当たり平均）の漁労収入は821万円（前年比0.8%増）、漁労支出は587万円（同1.2%増）で、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は234万円（同0.1%減）となりました。また、漁労支出の内訳をみると、油費が115万円と漁労支出に占める割合が19.6%と最も高く、次いで雇用労賃が111万円と18.9%、船舶等の更新に伴い増加した減価償却費が81万円と13.8%となっています。

さらに、主として漁船漁業を営む会社経営体の漁労売上高は2億8,246万円（同3.0%増）、漁労支出は2億9,254万円（同3.2%増）となり、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益は△1,008万円（同9.2%減）となりました。また、漁労支出の内訳をみると、労務費が9,140万円と漁労支出に占める割合は31.2%と最も高く、次いで油費が5,883万円と20.1%、漁労販売費及び一般管理費が4,450万円と15.2%となっています。

なお、調査内容の詳細は下記の農林水産省のホームページでご覧になれます。

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/gyokei/index.html>

3. セーフティネット構築事業 —燃油 第2四半期補填 特別対策も発動—

漁業者の経営安定対策の柱の一つである燃油価格の高騰時に備えた「セーフティネット構築事業」において、第2四半期（7～9月）の平均原油価格が66,193.3円/KLとなり、補填金の発動となるライン（7中5の平均原油価格50,226.1円/KL）を上回った結果、補填単価15,960円/KLが確定しました。また、第2四半期の原油価格が緊急特別対策の発動ラインとなる原油価格62,000円/KLを上回ったことから特別対策も発動され、要件を満たしている契約対象者への補填は、国の負担割合の引き上げが実施され、国3：対象者1の割合により補填金が交付されます。

漁業用燃油緊急特別対策の決定に伴い、年度中の7月から新規加入の申込み受付も行ったことから、本年9月末現在の全国加入状況では、加入件数が16,595件、加入率が83%に達

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

しています。この制度にまだ加入されていない漁業者の方は、年度中の加入（第4四半期からの申込期限は12月末）が可能となっていますので、是非加入をご検討下さい。詳しくは、所属漁協もしくは県漁連漁業振興課までお問い合わせください。

4. ふじのくに農芸品フェア2014 開催のお知らせ —出展者募集—

多彩で高品質な静岡県産農林水産物と、これらを活用した加工品や食文化の魅力に消費者が直接ふれあう機会を創出することを目的として、本会も構成員となっているふじのくに農芸品フェア実行委員会の主催により、平成26年2月22～23日の2日間にわたり「ふじのくに農芸品フェア」が浜松市のアクトシティ等において開催されます。

このフェアは、農・林・漁業者や関係団体など県内の一次産業に携わる者が一体となって、その魅力を紹介するイベントとして開催され、昨年度開催されたフェアでは、多くの漁業者団体や水産加工業者が参加出展しています。本年度も県内の農林水産物や加工品等の販売ブースや体験・啓発ブースの出展が募集されており、水産物及び水産加工品の販売などの出展が可能となっています。詳しくは、県経済産業部農林業局みかん園芸課・ふじのくに農芸品フェア実行委員会までお問い合わせください。

5. 平成25年度サクラエビ秋漁 —県桜えび漁業組合—

県桜えび漁業組合（柚木孝男組合長）では、秋漁を前に「生産技術研修会」を、10月24日（木）大井川港漁協、10月25日（金）由比港漁協でそれぞれ開催しました。この研修会において県水産技術研究所より「平成25年度サクラエビ調査中間報告と秋漁の見通し」について報告が行われ、産卵調査の途中経過や秋漁前の体長組成などが説明されたほか、秋漁の見通しとして親エビについては、前年を下回り、平年を下回ると予測がされています。

なお、本年度サクラエビ秋漁の操業期間と休漁日は次のとおりとなっています。

▽操業期間：11月4日（月）晩～12月24日（火）晩

▽休漁日：11月・12月の各土曜日、11月22日（金）・12月22日（日）の合計9日間

6. 本会 新石油タンクが完成 11月より供用開始予定

会員に対し燃油を安定的に供給するため、これまで使用してきた静岡市清水区の石油タンク（軽油及び重油の特定屋外タンク1,600kℓ各2基）の地盤が現行の消防法による新基準に適合しなくなり、静岡市消防局から本年12月末までには是正措置をとるよう指導されていました。このため、今後の石油需要と大規模地震等による新たな規制の可能性等を勘案し、タンク建替えについて理事会承認を受け、本年5月より既存タンクの解体撤去を開始し、(株)秀和エンジニアリング施工のもと軽油及び重油の屋外タンク490kℓ各2基を新設しました。

完成検査を経て、10月末に静岡市から許可が下りたことから、11月より新タンクの供用が始まります。

今後、ローリー出荷施設及び漁連丸とともに新タンクの有効利用を図ることにより、引き続き漁業用燃油の安定供給と適正価格の維持に努めて参りますので、石油購買における系統全利用体制への会員漁協皆様のご理解・ご協力をお願いします。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう